

人工知能を用いた消化管癌の腫瘍先進部における病理学的特徴の臨床的意義に関する後ろ向き研究

### 1. 研究の対象

2000年1月から2019年12月の間に当院において消化管癌（食道癌、胃癌、大腸癌など）に対して根治的手術を受けられた患者さん

### 2. 研究目的・方法・期間

当教室では、大腸癌の最も浸潤した場所（腫瘍先進部）における病理学的な形態に着目して研究を行い、癌患者さんの長期予後と強く関連していることを報告してきました。また、その病理学的形態の中には、人工知能（**artificial intelligence, AI**）を用いることで客観的かつ定量的に評価することが可能なものがあることもわかりました。食道癌などの他の消化管癌においても腫瘍先進部の所見が癌の長期予後と関連していることが知られるようになりましたが、AIを用いた評価については報告がありません。そこで今回我々は、当院で根治的消化管癌の切除を行った患者さんの検体を用いて、AIによる腫瘍先進部の形態学的変化の診断を行い、臨床応用が可能かどうか検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、既往歴、採血結果、病理検体診断結果等の情報を、すべて対応表を作成した匿名化を行ったあとで研究に利用します。AIによる診断には、消化管癌の切除後に、患者さんの病理学的診断のために作成された病理標本スライドを用います。そのため、患者さんに新たな侵襲を加えることはなく、既存の試料を後方視的に検討する研究です。

研究期間：学校長承認後から2026年12月31日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

得られた個人情報、防衛医科大学校の個人情報管理者の指導のもとで、本研究に携わらない外科学講座の永生高広がすべての個人情報を厳重に管理します。個人情報は、匿名化（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判定できないよう、管理されたものに限る）し、対応表を適切に管理するなど、漏えい、滅失又はき損の防止その他の安全管理を行います。

### 5. お問い合わせ先

### 資料 3

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：防衛医科大学校 外科学講座 講師 梶原由規（研究責任者）

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1216